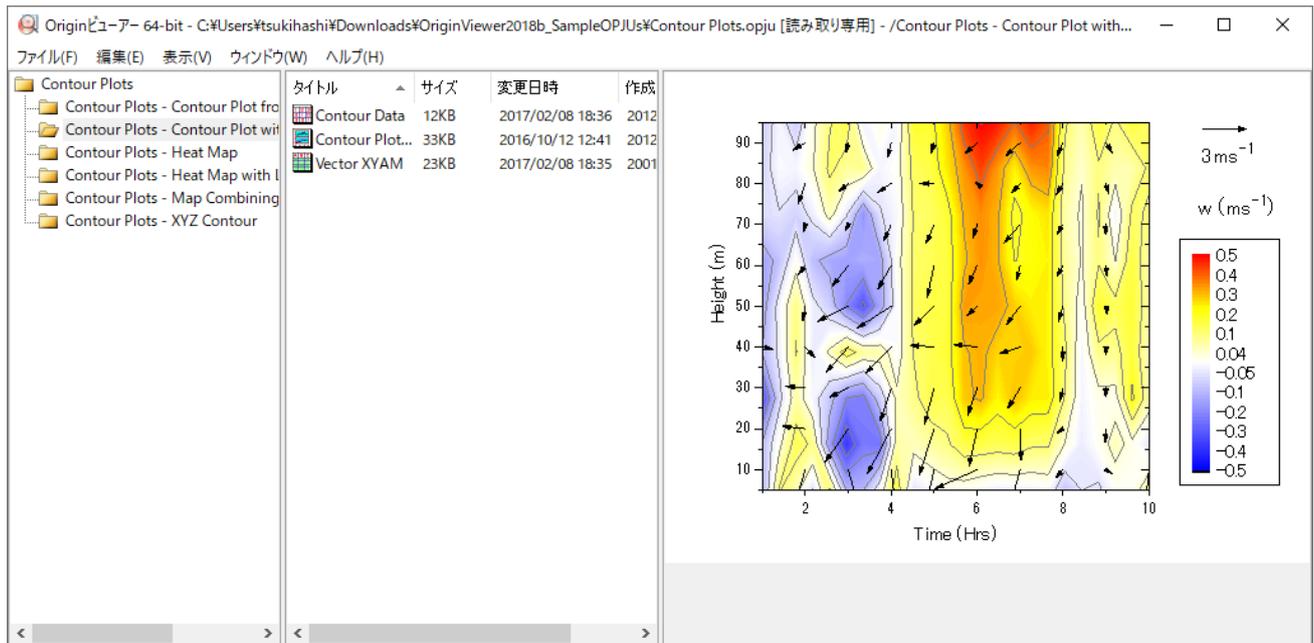


Origin ビューアー

Origin ビューアーは、Origin がインストールされていない PC でも Origin のプロジェクトファイルやウィンドウファイルの内容を確認できる、無料配布ソフトウェアです。

インストール不要で、ダウンロードした EXE ファイルをダブルクリックするだけで使用できるので、共有フォルダなどに保存しておき、それぞれの PC から実行という使い方も可能です。



閲覧できるファイル

- プロジェクトファイル (OPJU、OPJ)
- ワークブックウィンドウファイル (OGWU、OGW)
- 行列ウィンドウファイル (OGMU、OGM)
- グラフウィンドウファイル (OGGU、OGG)

できること

- 各種ファイルの内容を確認
 - グラフ：ズームイン/アウト、全ページ表示
 - Open GL の 3D グラフ：回転操作
- データやグラフをコピーして他のプログラムへ貼り付け
- OPJU ファイルを OPJ ファイルに変換

例えばこんなときに使えます

- PDF 等で別途資料を作成する時間を節約
 - Origin を所持していない同僚や共同研究者に Origin のデータとビューアーを併せて送り、確認を依頼
 - Origin ビューアーを USB に入れておき、会議や授業などで Origin のデータやグラフとともに参加者に配布
- 作業を分担
 - ビューアーと Origin のプロジェクトファイルを論文の共同著者などに送り、文書内にデータやグラフのコピー/貼り付けを依頼
- ライセンス認証の手間を省く
 - ライセンスを持っているが、出先で使う Origin をインストールしていないノート PC で Origin のファイルを閲覧

どこでダウンロードできる？

開発元 OriginLab 社の Web ページで必須項目を入力後、ご利用の環境に応じたファイルをダウンロードできます（複数の項目をダウンロード可能）。ZIP 形式ですので、ダウンロード後に解凍(展開)してご利用下さい。

<https://www.originlab.com/viewer/dl.aspx>

※ページ右上のドロップダウンで言語切り替え可能です。

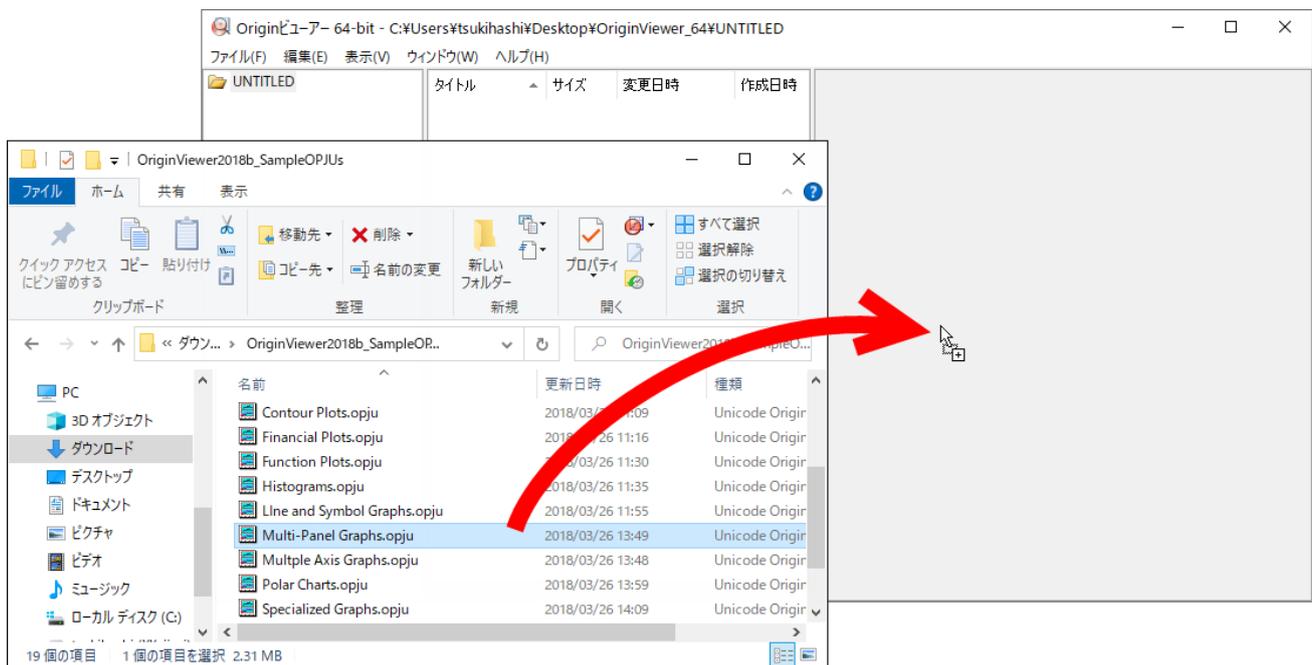
なお、このページでは Origin のサンプルプロジェクトもダウンロードでき、実際のデータが手元になくともビューアーの操作を実際に試せます。

使いかた

各種ファイルの内容を確認

1. ダウンロードした EXE ファイルをダブルクリックすると起動します。

Origin で作成したファイルを Windows のエクスプローラからドラッグアンドドロップすると開けます。あるいは、メインメニューの「ファイル：開く」を選択して、Origin のファイルを選択します。下図では、プロジェクトファイル（.opju）を開いています。



2. 左側のパネルではプロジェクトファイル内の構造を確認できます。

The screenshot shows the Origin Viewer interface. On the left, a file explorer displays a tree structure under 'Multi-Panel Graphs'. A red box highlights this area. The main window shows a data table with the following columns: Year(X), Population(Y), PopulationII(Y), PopulationIII(Y), and Popule. The table contains data for years 1790 to 1980.

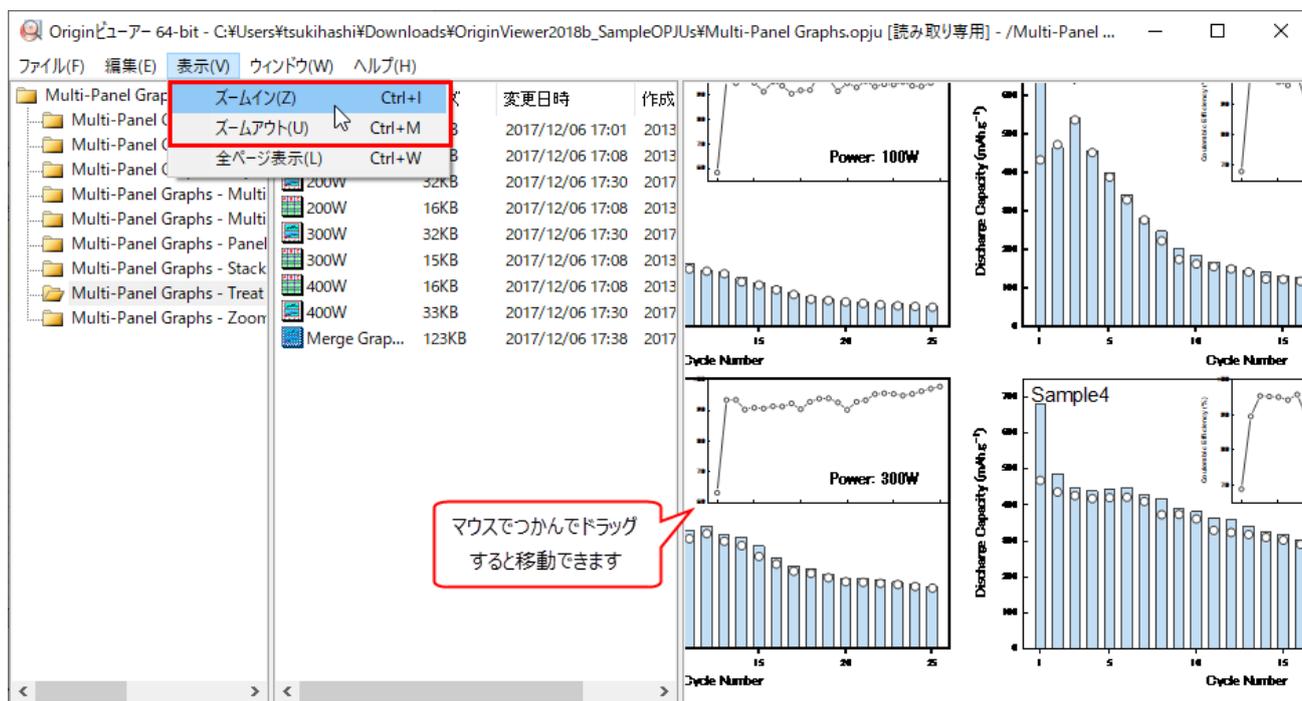
Year(X)	Population(Y)	PopulationII(Y)	PopulationIII(Y)	Popule
1790	33131	4549	6159	
1800	60515	5740	6642	
1810	96373	8303	7444	
1820	123706	11187	8246	
1830	202589	20535	9049	
1840	312710	47613	14480	
1850	515547	138882	18593	
1860	813669	279122	32903	
1870	942292	419921	45468	
1880	1164673	599495	56559	
1890	1441216	838547	87050	
1900	1850093	1166582	152999	
1910	2331542	1634351	284041	
1920	2284103	2018356	469042	
1930	1867312	2560401	1079129	
1940	1889924	2698285	1297634	
1950	1960101	2738175	1550849	
1960	1698281	2627319	1809578	
1970	1539233	2602012	1986473	
1980	1428285	2230936	1891325	

3. 左側のパネルで表示したいフォルダや、グラフやワークブックなどのアイコンをクリックすると右側のパネルに内容が表示されます。アイコンをダブルクリックすると個別のウィンドウが開きます。

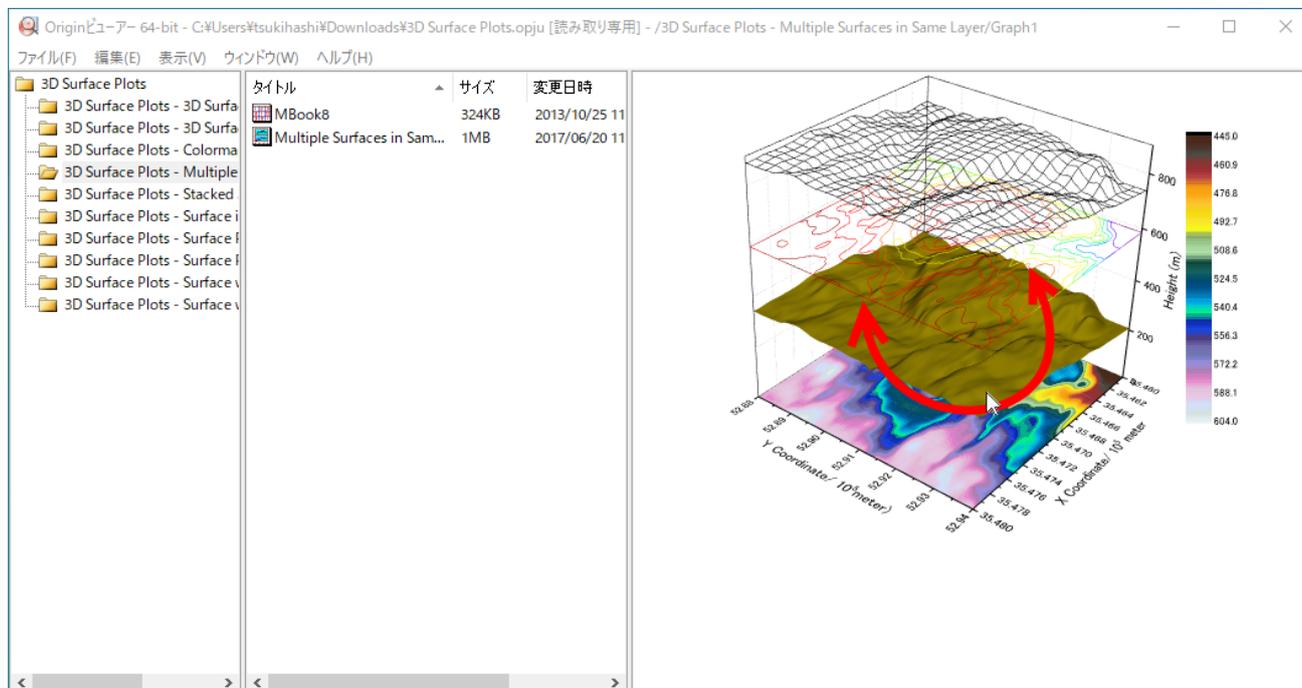
The screenshot shows the Origin Viewer interface. On the left, a file explorer displays a tree structure under 'Multi-Panel Graphs'. A red box highlights the 'Merge Graph...' icon. A red arrow points from this icon to a separate window titled 'Merge Graphs Treating Each Multilayer Graph as a Unit'. The window displays a graph titled 'Cycle Performance of Sb Films Electrodes on Different sputtering Powers'. The graph shows Discharge Capacity (mAh/g) vs. Cycle Number for four samples (Sample1, Sample2, Sample3, Sample4) at different sputtering powers (100W, 200W, 300W, 400W). The graph also includes Charge Capacity and Coulombic Efficiency data.

ダブルクリックすると
個別のウィンドウが開く

4. グラフを表示した場合、「表示」メニューの「ズームイン/ズームアウト」を選択して拡大・縮小表示が可能です。あるいは、キーボードの CTRL キーを押しながらマウスのホイールを回転させても同じ操作が可能です。元の大きさに戻すときは「表示」メニューの「全ページ表示」を選択します。



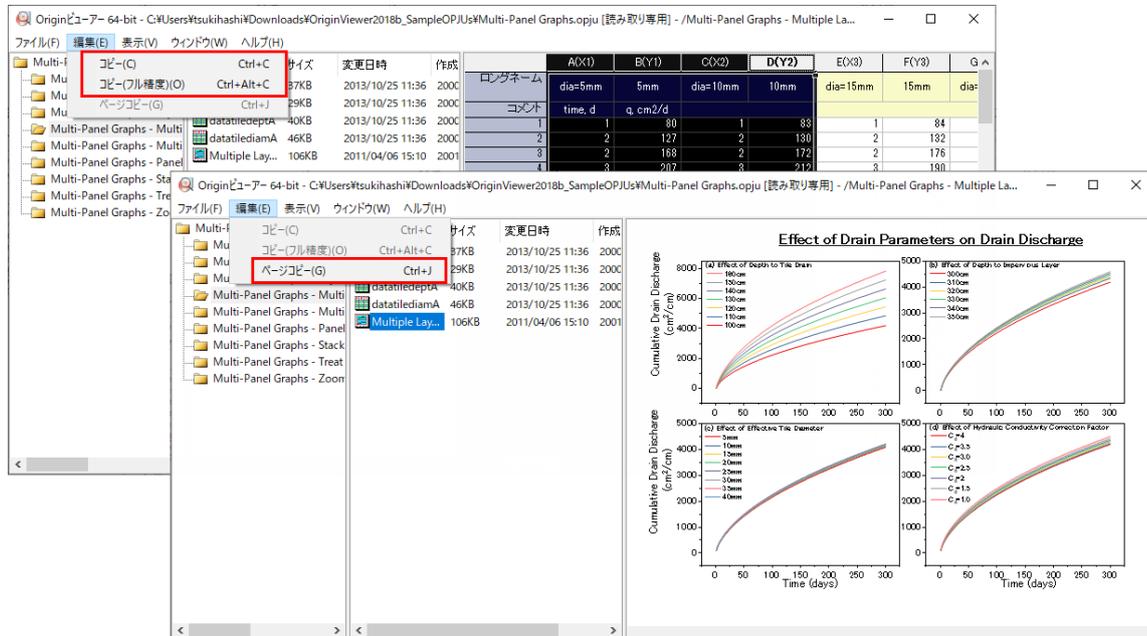
5. OpenGL の 3D グラフの場合、左側のパネルで表示中に、マウスでつかんでドラッグすれば回転操作が可能です。



データやグラフをコピーしてほかのプログラムへ貼り付け

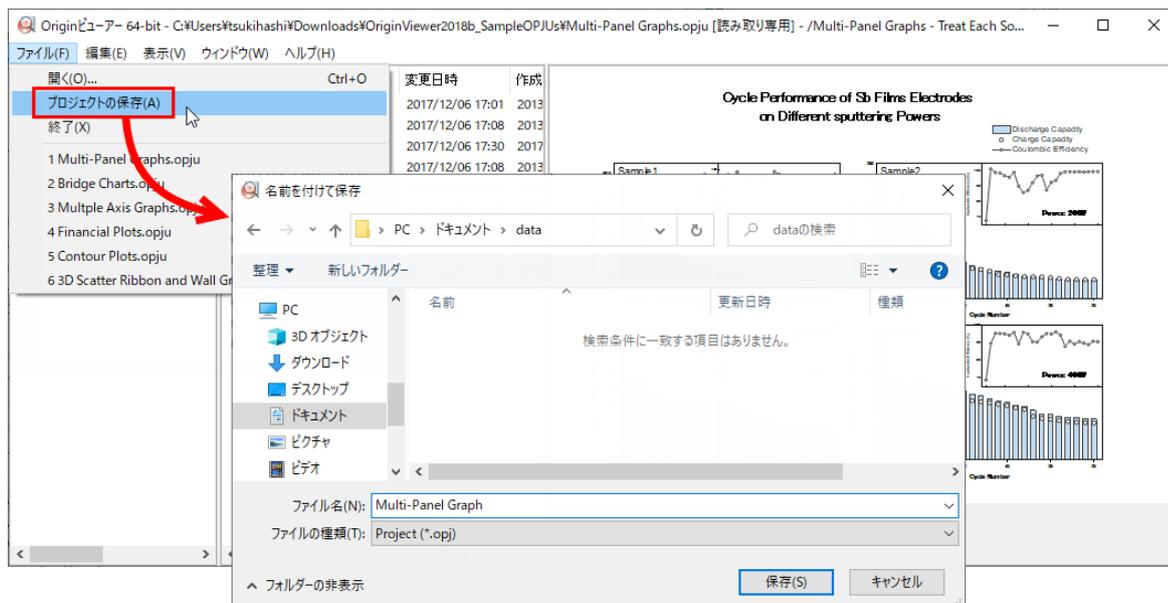
ワークシートデータの場合は、「編集」メニューから「コピー/コピー（フル精度）」を選択し、Excel などのほかのソフトウェア上で貼り付け可能です。

グラフの場合は、左パネルでグラフアイコンを選択して開き、「編集」メニューの「ページのコピー」でコピーできます。



OPJU ファイルを OPJ ファイルに変換

OPJU ファイルを Origin ビューアー上にドラッグ & ドロップして開き、メインメニューの「ファイル：プロジェクトの保存」を選択して開くダイアログで OPJ ファイル形式として保存し直すことができます。



なお、Origin は下位互換性がないので、元の OPJU ファイルを作成した Origin のバージョンより古い Origin でプロジェクトファイルを開く場合は、うまく開かない可能性があります。ご注意ください。